

令和2年度 公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター事業報告

令和2年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあり、その水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばとなりました。こうした中、政府は、感染症の拡大防止策、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱とする「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」を策定しました。また、最近の感染拡大に対しては、緊急事態宣言に基づいて感染拡大を抑えることを最優先に対策を徹底し、経済への影響に対しては、第3次補正予算の着実な執行とともに予備費も活用して支援策を講じてきました。今後については、内外の感染拡大による影響が国内経済を下振れさせるリスクに十分注意し、また、金融資本市場の変動等の影響を注視しながら感染拡大の防止策を講じることにより、総合経済対策の着実な執行等による各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されました。

このような状況において、令和2年度の当センターの事業運営につきましては、コロナ禍で様々な影響を受けましたが、設立30周年という節目の年を迎え、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進や社会参加の推進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、引き続き各種事業の取組みを進めてまいりました。

まず、就業機会の確保と提供については、前年度に引き続き、当センターの事業について広く理解を求めるとともに、(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会の拠点として、コロナ禍での労働者派遣事業について就業先及び派遣会員にきめ細やかに対応し、事業規模の維持、的確な運営に努めてまいりました。自転車・自動車駐車場施設の指定管理業務については、市と連携して利用者が安心して快適にご利用いただけるよう、高齢者や子育て世代に配慮した施設整備を行うなどサービスの向上に取り組んでまいりました。

また、安全・適正就業については、ガイドラインの周知・徹底を図り、違反に対する罰則を厳格に運用するとともに、安全管理委員会委員による巡回指導等を徹底しました。就業にあたっては、事故件数を常に「0」にすることを目標とし、さらなる安全就業等の推進を図ってまいりました。

さらに、高齢者の社会参加に向けた動機づけと、生きがいをもって就労のできる場や地域社会に参加できる場への紹介を行う生きがい就労事業と令和2年

度から当センターが実施主体となった生涯現役応援窓口事業を統合し、当センターの事業として実施しました。

事業の実施に当たりましては、平成29年度から平成33年度までの5年間の中期事業計画を策定し、この計画に位置付けられた各項目の目標を達成するため、令和2年度の具体的活動を確実に実施することとし、中期事業計画推進委員会において令和2年度の重点目標や活動事項などを定めるとともに、取り組み状況の確認や検証等を行いました。なお、一部の項目につきましては次年度に繰り越しをして進めてまいります。

各事業の実績を前年度と比較しますと、請負・委任につきましては、受注件数、受託件数及び契約金額それぞれ減少となりました。労働者派遣事業につきましては、受注件数は減少しましたが、契約金額はほぼ同額となりました。指定管理事業につきましては、引き続き業務の効率的かつ円滑な運営に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の諸事情で自転車駐車場の利用者が減り、事業収入は減少しました。

また、例年であれば公益目的事業を行う事業者として、就業以外での地域社会への貢献と社会参加を目的とした清掃などのボランティア活動や市民ふれあいまつりでの当センターのPR活動を実施し多数の会員の皆様に参加をさせていただく訳ですが、両事業については、コロナ禍や事業中止のため残念ながら実施できませんでした。

会員数につきましては、入会説明会を11回開催し、説明会に参加した方は104名で、入会した方は説明会の中止により随時の説明で対応した方を含め109名となりました。一方、年度中に退会した会員は187名で結果、年度末の会員数は939名（前年度比92.3%）となりました。

安全就業につきましては、安全・適正就業作業ガイドラインの徹底と安全管理委員会委員の巡回指導などを行い、事故防止等に努めるとともに、作業手順の平準化のため就業マニュアルの作成に取り組んでまいりました。安全就業に向けた取り組みを行った結果、(公社)全国シルバー人材センター事業協会から優秀賞、(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会から優良賞の表彰を受けました。就業中及び就業途上の傷害事故は3件（前年度比42.9%）、就業中の賠償事故は3件（前年度比75.0%）となりました。今後も作業ガイドライン等に基づき事故防止に努めてまいります。

具体的な事業実績につきましては、初めに、請負・委任の受注件数は、公共59件（前年度比80.8%）、事業所361件（前年度比86.8%）、個人3,061件（前年度比88.1%）、合計3,481件（前年度比87.8%）、契約金額は、

公共146,185,530円、事業所100,449,810円、個人70,031,736円、合計316,667,076円（前年度比88.5%）、就業実人員は630人（前年度比83.8%）、就業率は67.1%（前年度比6.8ポイント減）となりました。

次に、指定管理事業の施設利用料金収益は167,104,280円（前年度比74.7%）になりました。

また、労働者派遣事業の受注件数は、民間事業所に132件で、契約金額は、62,622,079円（前年度比100.2%）、就業実人員は143人（前年度比94.7%）、就業率は15.2%（前年度比0.4ポイント増）で、コロナ禍において本事業は前年度と同規模を受注することができました。

この結果、当センター全体の就業実人員は754人（前年度比88.0%）、就業率は80.3%（前年度比4.0ポイント減）となりました。

なお、中期事業計画に基づく各事業の実施状況は次のとおりです。

1 各事業の実施状況

(1) 会員の就業機会の拡大及び提供

公共機関などへ広く理解を求め、リーフレット等を配架したほか、図書館のスポンサー制度の活用など当センターのPR活動を行いました。

また、嘱託職員（就労・生きがい相談員）により、就業機会の開拓に努め、59事業所から101人の求人をいただき、会員の希望に沿った就業の場の提供をし、53事業所へ77人が就労いたしました。

一方で、中期事業計画に基づき、会員1人1就業開拓運動の取り組みとして毎年度実施していたセンターのパンフレットの就業先やご近所のお知り合いの方などへの配布は新型コロナウイルス感染症の諸事情で実施は見送りました。同様に、市民ふれあいまつりにおける来場者へのリーフレットの配布は主催者による事業中止により実施できませんでした。

情報発信のツールであるホームページにはお客様の手続きや当センターが取り扱っている仕事の情報や会員への仕事の募集等を掲載したほか、市役所や郵便局の窓口に着けられる封筒に当センターの広告を掲載し、会員の就業機会の拡大及び提供に努めました。

さらに、現状に即した内容に改定した情報発信のツールである当センターのPRビデオについて、8月の入会説明会から上映を始めたほか9月には市役所本庁舎ふれあいプラザの大型モニターで放映していただくなど仕事の拡大につながる取り組みを実施しました。

(2) 講習会等の実施

仕事に関する知識や技能の向上及び就業機会の拡大を図るため、(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会主催の技能講習の参加案内の周知や自主的な講習会として、植木技能講習会、除草講習会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の諸事情で中止としました。

(3) 就業情報の収集及び提供

ア 各種情報の提供や会員相互のコミュニケーションを図るため、会報「シルバーちがさき」を年2回、「シルバー通信」を年3回発行しました。

イ (公社)全国シルバー人材センター事業協会、(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会等から各種情報の収集を行い、事業の推進に役立てました。

ウ ホームページにより各種情報の提供を行う中、内容等の検討を行い、就業機会の提供等をより効果的に行うため、ホームページに就業情報を具体的に掲載しました。

(4) 就業に関する調査

ア 未就業の会員の実情を踏まえ、就業機会が発生した場合に、適宜、就業の場を紹介し、未就業会員の減少に努めました。

イ 近隣のシルバー人材センターと事業実施状況等について情報交換を行いました。

ウ 発注者アンケートを令和3年3月に実施し、仕事への満足度などを調査し、今後の就業等の改善につなげていくこととしました。

(5) 就業に関する相談

就業に関する各種資料を整備し、事務局職員、嘱託職員(就労・生きがい相談員)が随時相談に応じるとともに、就業先への紹介を行いました。

(6) 労働者派遣事業の適正な運営

(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会の拠点として、労働者派遣事業をコロナ禍の状況の中で派遣会員の想いを優先に就業先と調整しながら実施しました。その結果、32事業所143人、延べ14,191人日(前年度比94.3%)の派遣実績となりました。また、派遣会員に対する研修について令和2年度は、苦情処理、個人情報保護、職場のパソコンの取り扱い等をテーマに在宅型研修の手法で実施しました。

(7) 安全就業等の推進

ア 会員の事故防止のため、安全管理委員会委員による巡回指導等を適宜実施し、安全就業の推進を図りました。会員には(公社)神奈川県シルバー人材センター連合会が公募する安全標語等の応募を求め、安全就業

の喚起を行いました。また、就業中のさらなる事故防止及び安全対策の推進を図るため、会員安全就業基準、安全・適正就業作業ガイドラインの周知徹底を図りました。さらに、業務の均一化を図るため就業マニュアルを作成しました。

イ 前年度の事故報告や作業での注意事項等を会報などで周知し、会員の安全対策や健康管理の意識向上を図りました。

(8) 会員の自主的組織活動の推進

効率的な就業を推進するため職域班制度を継続し、自主的就業の推進を図りました。なお、実効性を高めるため職域班の在り方の検討を様々な視点から行いました。その結果、令和3年度にまずは植木班、除草班について試行的に実施していくことといたしました。

(9) 会員確保の促進

ア 会員の口コミやリーフレット等を活用し、PR活動を行うとともに、ポスターを関係団体に掲示し、会員の確保に努めました。また、生涯現役応援窓口を通じて就労希望者に当センターへの入会を勧めました。

イ 年間11回の入会説明会を開催し、働く意欲があり当センター事業の趣旨に賛同する会員を募りました。なお、令和2年4月、5月及び令和3年1月から3月までの間に開催を予定していた9回の入会説明会は、新型コロナウイルス感染症まん延防止の対応により中止とし、入会希望者に対しては個別対応としました。

ウ 地域情報紙等を活用した普及啓発を行い、会員の確保に努めました。

エ 会員の退会抑制の観点から令和2年6月より月に1回、嘱託職員（就労・生きがい相談員）による会員の就業や生きがい活動の相談窓口を設置し、14人から合計16回の相談を受けました。

(10) 事業収入の確保及び事業運営費の見直し

受託事業、派遣事業の実施や市の補助金の削減が行われる中、これを補完するため、可能な限り国の補助金の確保に努めるとともに、事業運営等において効率化を図りました。

(11) 事業運営に寄与された方々の表彰

永年にわたり、当センター事業運営に寄与され、当センターの発展に貢献された会員18名を表彰しました。

(12) 会員相互の連携及び健康増進

就業以外の生きがいや健康づくりとして、同好会等のサークル活動の内容についてホームページ等に掲載し、会員間の親睦やコミュニケーション

の充実に努めました。

(13) 社会参加活動の推進

地域社会への貢献と社会参加の機会として、予定していたサザンビーチちがさきでの海岸清掃や市民ふれあいまつりへの参加並びに当センター独自の「シルバーの日」等の公園清掃のボランティア活動は、新型コロナウイルス感染症の諸事情で中止となりました。

(14) 記念事業の実施

令和2年度は当センター設立30周年に当たり、元年度に設置した実行委員会において事業内容の検討を進めました。式典等を予定し計画したもののコロナ禍の影響もあり開催は中止としました。実施した事業としては、永年勤続会員9名の表彰並びに記念誌の制作及び記念品を用意し、会員及び関係者、関係機関に配付しました。

(15) 職業紹介事業の実施

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高年齢者に対して、（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会の活動拠点として2事業所に2名の紹介を行いました。

(16) 指定管理業務の円滑な運営

自転車・自動車駐車場施設の指定管理業務については、茅ヶ崎市より新たに令和2年度から5年度までの指定管理者として指定を受けることとなりました。本施設の管理運営に当たっては、より良いサービスの提供を行うため、利用者ニーズの把握に努めるとともに、全てのご利用者に安心して快適にご利用いただけるよう施設の整備を行いました。また、施設を管理する職員及び会員には接遇研修を実施し、施設運営におけるサービスの向上に努めました。

(17) 高齢期の社会参加の仕組みづくりの実施

高齢者の社会参加に向けた支援を行うため、令和元年度まで市から受託していた生涯現役応援窓口並びに市と連携し推進してきた生きがい就労事業について、二つの事業を統合し、当センターの事業とし事業の拡大に取り組みました。

生涯現役応援窓口については、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令期間中を除く毎週火、木曜日の2日間開設し、延べ51名の相談に対応し、43名を事業所や関係団体に紹介しました。